

2022年4月14日
日本冶金工業株式会社

旧加悦鉄道車両車庫落成式がおこなわれました ～鉄道車両の新たな展示保存場所が完成～

当社グループ会社の宮津海陸運輸(株)が運営していた「加悦SL広場」が2020年3月に閉園した後、保存されていた鉄道車両のうち3両(※)は文化財としての価値が高いことから与謝野町に譲渡され、「旧加悦鉄道加悦駅舎」(京都府与謝野町字加悦 433 番地)で展示されることになりました。そのため、同加悦駅舎の敷地内には当該3両を展示保存するための車庫が新設されることになり、当社も「企業版ふるさと納税制度」を利用し、車庫の建設費用の一部として1,000万円の寄付をおこないました。

(寄付に関するニュースリリースにつきましては以下のURLをご参照願います)

https://www.nyk.co.jp/files/pdf/news_211109.pdf

※3両とも旧加悦鉄道を走行。大江山鉱山のニッケル鉱石、丹後ちりめん、旅客の輸送に従事し、うち1両は国指定重要文化財、2両は与謝野町指定文化財。3両とも宮津海陸運輸(株)から与謝野町に無償譲渡されました。

車庫は3月末に竣工し、4月13日(水)に同加悦駅舎において与謝野町主催の落成式がおこなわれました。同落成式には当社社長が出席し、与謝野町を始めとする関係者に対し、車両保存に関する多大な尽力への感謝を述べました。なお、「旧加悦鉄道加悦駅舎」では展示をリニューアルし、4月16日(土)から一般公開される予定です。

当社は「中期経営計画 2020」において基本戦略の一つとして掲げる「強固かつ自立した事業基盤をベースとした環境・社会との共生」を図るべく、地元自治体および地域社会との協働を通じて「持続可能な社会の実現」に貢献してまいります。



車庫に展示されたSL「123号蒸気機関車」



式典で挨拶する当社社長の久保田

以上

本件に関するお問い合わせ：大江山製造所 総務部（電話：0772-46-3121）